



住みやすい町を目指して… 63

松田町の自然を探求して

おおつ はくと
大津 珀斗さん(寄在住 20歳)

【寄に越して】

私が寄に越してきて今年で7年になります。

元々生物が好きな私にとって神奈川県 of 自然の本拠地である丹沢の懐に抱かれる寄は自然を学ぶ良い環境でした。

元々地元である神奈川県 of 自然に興味があった私はこの地に生きる生物の姿を知るために、生息状況の確認や新産地の開拓を目標に活動をしています。

毎年生息地、自生地の現状確認は欠かさずに行うようにしています。また外来種の駆除を精力的に行うようにしています。

【野生下での姿を求めて】

令和元年より各地点を訪れ、牛歩ではありますがどの地点にどういった環境が残り、種が生息しているかを確認してきました。今では見る機会が少なくなった様々な種のたくましく生きる姿を見てこの力強く命をつなぐ景色や系統を残したいという思いが年々強くなってきています。一方で年々生物の生息に適した環境が減少しているのもまた現状です。



【いつまでもその姿が見られるように】

今後の目標としては、外来種の精力的な駆除、系統保存を掲げています。

寄地区では20年、中津川にて飼育放棄による改良メダカ、翌年同河川にてアメリカザリガニを確認。21年9月19日ムネアカハラビロカマキリ

成虫と卵囊^{らんのう}の発見により定着を確認等、この地でも外来種が問題となっています。私は一度捕獲した外来種は極力逃がさないよう心がけていますが今後はより強化していきたいと思っています。系統保存に関しては神奈川県に生息する種を保存したいと考えています。神奈川県は他県に比べ生息状

態が悪化しています。かつては普通種であった種の多くが確認できていません。一度確認したきり数年間確認できていないのが現状です。

そういった種が、今は個人の趣味であったとしても、何らかの形で種の繁栄に繋がると信じて私は神奈川県産のホトケドジョウやイモリの繁殖、淡水二枚貝の繁殖に挑戦しています。

「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。
希望される方は下記までご連絡ください。

令和8年 第3回定例会は
9月2日(水)開会予定
ぜひ、傍聴にお越しください。

議会広報広聴常任委員会
委員長 武尾 哲治
副委員長 寺嶋 正
委員 飯田 一
委員 南雲 まさ子
委員 秋田 谷光彦
委員 吉田 功

松田町議会では、7月に議会報告会を2会場で開催し、今回の意見交換会ではテーマを設けて行いました。
今後とも、町民の皆様が開かれた議会、分かりやすい議会を目指し取り組んでまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。
(南雲)

6月26日、松田町では台風7号8号の影響が心配されるなか、震度5弱の地震が発生しました。自然災害は各地で大きな被害をもたらしています。ご自身やご家族を守るために常日頃より十分な備えをしておきたいものです。

編集
あとがき

